

しものせき Port News

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

- Contents -

下関港海岸(山陽地区)

宮崎水門(防波堤工区)・9工区 工事進捗報告

トピックス

しものせきクルーズシンポジウム&クルーズセミナー

インターンシップ 高校生の受け入れ

海上自衛隊 護衛艦 特別公開(艦内見学)

新造グラブ浚渫船見学会への参加



令和6年1月 下関港海岸9工区・宮崎水門全景 (山陽地区)

令和6年2月 下関港海岸9工区陸間設置状況 (山陽地区)



下関港海岸（山陽地区）

宮崎水門(防波堤工区) 工事進捗報告

宮崎水門は、令和4年度より、防波堤工区 護岸工事に着手しており、今年度は、昨年度に引き続き、護岸の整備するための雑石による作業場整備、護岸の基礎となる鋼管矢板及び鋼管杭打設し、既設防波堤の上部工について、コンクリートによる嵩上げ工事を実施しました。

主な施工フロー

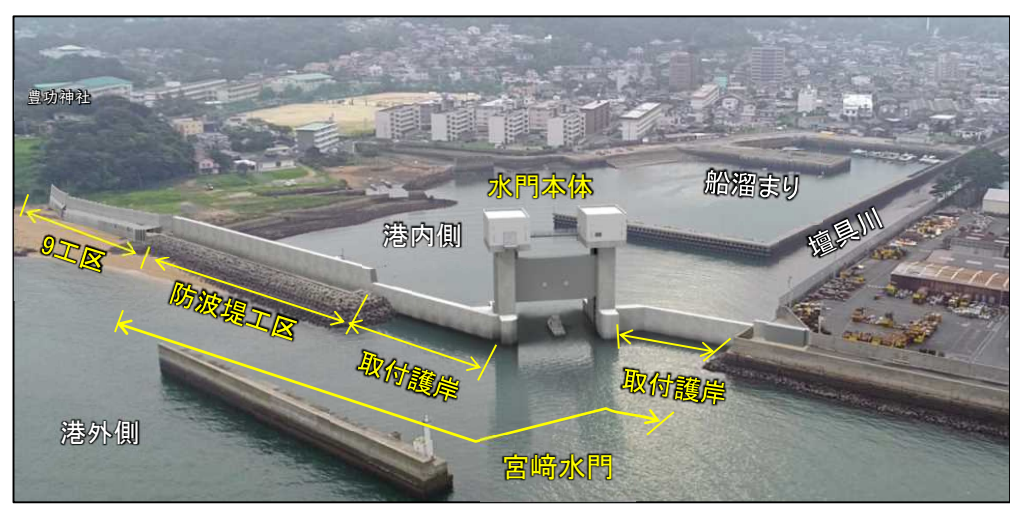
①作業場整備Ⅰ

②鋼管矢板打設

③鋼管杭打設

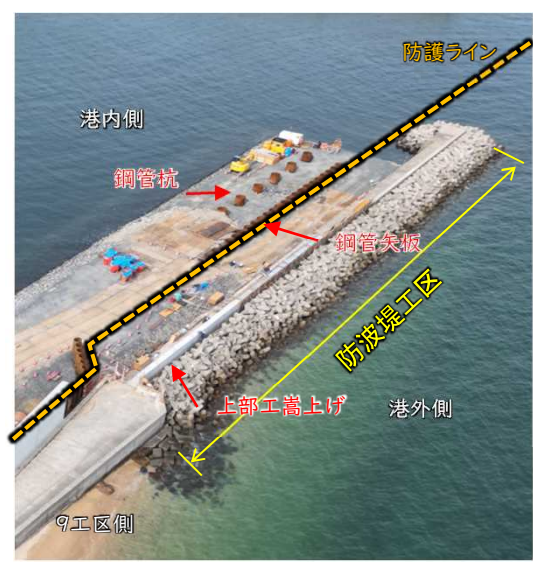
④既設防波堤
上部工嵩上げ

⑤作業場整備Ⅱ

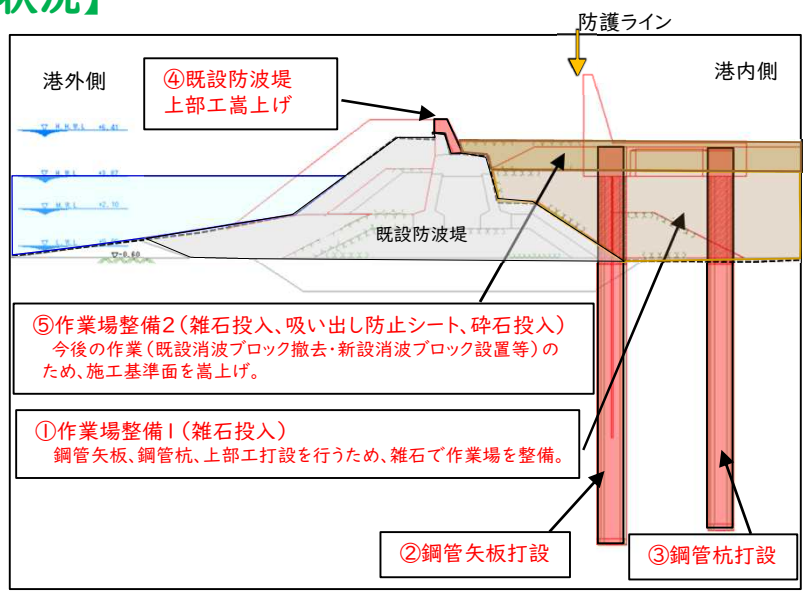


9工区・宮崎水門完成イメージ図

【宮崎水門（防波堤工区）施工状況】



施工状況航空写真



宮崎水門(防波堤工区) 施工イメージ図



バイブロハンマによる鋼管矢板打設



鋼管杭打設後の雑石整正状況



既設防波堤上部嵩上げ

今後は、残りの施工延伸を行い、以降、作業場を利用して、既設防波堤嵩上げに必要な消波ブロックの据付けや新設護岸の上部工施工等を計画しています。新設する消波ブロックは、現在、新港地区（長州出島）にて、製作しています。

下関港海岸（山陽地区）

9工区 工事進捗報告

9工区は、令和3年度より、胸壁工事に着手しており、今年度、豊功神社側の工事を実施しました。施工箇所の特徴として、御船手海岸へのアクセスを確保するため、陸閘（波や水圧に耐えうる扉）を設置しました。

陸閘の構造は、片開き式（スイングゲート）で、部材は軽く操作性がよく、耐久性に優れたアルミニウム合金を採用しております。

同工区においては、今後、防波堤工区との接続部や胸壁の背後を整備（管理用通路等）を整備予定です。



R4.3時点



R6.3時点



陸閘設置前
（堤内地側より撮影）



設置状況
（胸壁背後より、ラフタークレーンにて搬入）



陸閘設置完了
（堤外地側より撮影）

みなと歴史探訪 一串崎城跡一

串崎城跡は、海に突出した半島状の地形で、北、東、南の三方を海と断崖が取り巻く要害となっており、室町時代に大内氏の家臣である内藤氏がこの地に城を築き、その後、長州藩主の毛利秀元が整備拡大したと推測されるお城の跡地です。

1615年(元和元年)の一国一城令により破却され廃城となりましたが、幕末には関見台台場と城山台場の二つの砲台が築造され、攘夷に備えた場所でもあります。現在は、跡地に関見台公園が整備され、公園内には天守台が復元されており、歴史を感じながら、千珠、満珠の小島を一望することができます。

海岸事業実施においても、8工区から9工区の間は、この地形（自然海岸）を活かした計画（整備しない区間）としています。



串崎城跡 説明板



天守台



串崎城跡石垣

3 トピックス

しものせきクルーズシンポジウム&クルーズセミナー

令和6年2月9日（金）に、下関市主催、下関港湾協会共催（九州地方整備局は後援）で「しものせきクルーズシンポジウム2024」が開催され、コロナ禍を経た国内外のクルーズ最新動向やクルーズ振興に関して、基調講演やパネディスカッションが実施されました。

また、令和6年2月24日（土）には、「しものせきクルーズセミナー2024」が開催され、講師の方を招き、クルーズの旅に関するよく聞かれる質問（服装や船酔い等）に答え、講師の方の経験からおすすめの寄港地や必需品などを紹介しながら、クルーズの楽しさや魅力を伝えていました。



パネルディスカッションの様子
（シーモールパレス エメラルドの間）

インターンシップ 高校生の受け入れ

令和6年2月14日（水）～16日（金）の3日間、下関工科高等学校の1年生2名がインターンシップで来所し、当事務所の仕事の内容や職場の雰囲気を学びました。

昨年度に引き続き、下関港の各地区、海岸保全施設の整備・利用状況を通じて、港湾・海岸施設の役割、必要性を学んでもらいました。

また、機械学科の生徒が来所したこともあり、九州地方整備局が所有する港湾工事用作業船の紹介や、下関港湾空港技術調査事務所の水理実験センターやドック※を見学してもらいました。

今回の経験を進路選択等に活かしてもらえればと思います。

※ドック…船を造ったり修理したりするための施設



事務所長による下関港の紹介



レポート発表

海上自衛隊 護衛艦 特別公開（艦内見学）

令和6年2月24日（土）～25日（日）の期間、東港地区あるかぼーと岸壁に海上自衛隊所有のヘリコプター搭載型の護衛艦「いせ」が寄港しました。下関港へは、10年ぶりの寄港で、両日、艦内の一般公開が実施され、迫力ある護衛艦を間近で見ようと多くの市民や観光客が訪れていました。

船体寸法 長さ197m × 幅33m 乗員 約380名



護衛艦「いせ」

新造グラブ浚渫船見学会への参加

令和6年2月28日（水）に、東港地区あるかぼーと岸壁にて関門港湾建設（株）の新造グラブ浚渫船「第三関雄」見学会に参加しました。見学会では、実際に浚渫船に乗船し、最新の施工管理システムや高質化された休憩室等を見学しました。また、女性職員専用室も設置され女性も働きやすい環境も整っていました。

全国的に作業船が減少している中、このような新造船が多く建造され、港湾工事の現場で活躍することが期待されます。

船体寸法 長さ67m × 幅25m



新グラブ浚渫船「第三関雄」

SHIMONOSEKI
長府地区
新港地区
下関LC
東港地区・唐戸地区
本港地区・岬之町地区
西山地区
KITAKYUSHU

国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所
〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>
「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間：9:30～12:00と13:00～17:00（土・日・祝を除く）
ご意見・ご感想をお聞かせください。

海峽メッセ
海峽ゆめタワー
大丸下関
シーモール下関
下関市民会館
下関市役所
下関国際ターミナル
港湾合同庁舎
第一突堤
山口ダイハツ
マックスバリュ
三井重工業
下関造船所
第二突堤
下関警察署
下関消防局
国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所